

### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	アグリイノベーション 2030
事業主体 (連絡先)	飯島町 (飯島町役場地域創造課定住促進室)
事業区分	(6)イ 農業の振興と農山村づくり (8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,500,000円 (うち支援金: 1,200,000円)

#### 事業内容

##### 【チームづくり】

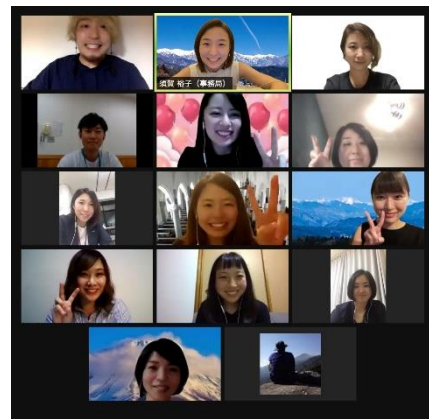
「町の特産品開発」をテーマに、首都圏大手企業で働く方を中心に10名で企画立案実施まで行った。関係構築にはオンラインを活用し、2チームに分け6月から11月まで毎週ミーティングを実施した。

##### 【関係交流人口拡大】

7月に上記のチームで現地合宿を行い、町内農家の課題ヒアリングを行い、「町の特産品とは」を一緒に考え共創関係を構築した。

##### 【町の新規産品開発プロジェクト実施】

上記の結果「町の特産品＝地域交流」との結論に至り、交流ツアーを造成し11月に地域発表会、3月にモニターを実施した。



【オンラインの様子】

##### 【目標・ねらい】

- ①UI ターン者による担い手確保
- ②農業を軸とした新規産業の創出
- ③都市部との交流施設の活用
- ④就農希望者への情報発信

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

【効果】外部人材と地域の農家と共創して一つの実践まで落とし込むことが出来た。また、モニターには参加チームの関係者に体験してもらうなど、普通では接点を持つことが出来ない人たちにチームから波及することが出来た。熱量が高い外部人材に入ってもらったことで、チームはほとんど自主的に、自分たちが考えた企画に必要と思われる調査や日程の調整など自身のリソースを活用し行っており、コロナにより不完全燃焼だった部分は、次年度継続して実施する予定である。

#### ※自己評価【 A 】

【理由】コロナ禍で対面の実施が思うように出来なかったが、オンラインで繋がった都市部の人材と町内の農業者と考えた企画を実際にモニター実施し、今後の展開につなげることが出来たため。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

オンラインで継続的な交流をはかることのできる「Iijima Lab」への関係者を接続していき、農に対して周辺からバックアップできる体制を整えていきます。

そこで、今回できたチームとの関係を継続し外部人材と地域の信頼関係の構築できるようなイベントを実施していきます。また、広がりを持って関わっていただく方を確保するため農に関心のある異業種人材等に対して引き続きアプローチをしていきます。

オンラインでの関係人口からオフラインの関係に落とし込み、地域へ愛着をもって関わっていただける人材を増やすことで、2拠点移住や移住人口の増加を目指していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)